

三菱同時給排気形換気扇 「J-ファン」

形名
V-06J (-BE)
V-08J (-BE)
V-10J (-BE)



据付説明書

販売店・工事店様用

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しく下さい。

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書を必ずお読みください。
- 据付けは販売店様、または工事店様が実施してください。間違った据付けは、故障や事故の原因になります。
- お客様ご自身での据付けは、故障や事故の原因になります。

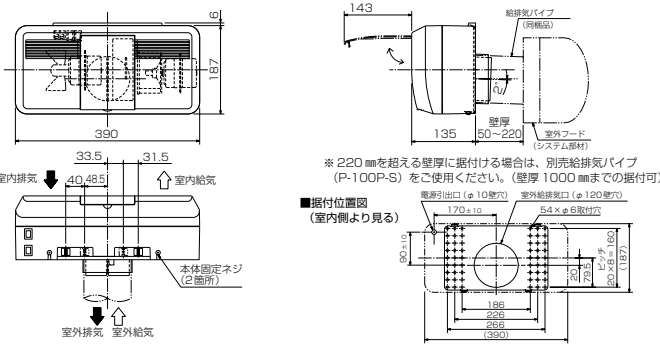
安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p> <p>分解禁止 ●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。</p> <p>浴室据付禁止 ●浴室など湿気の多い所には据付けない 感電・漏電の原因。</p> <p>禁止 ●据付専用のため、天井には据付けない 落下によりけがの原因。</p> <p>指示に従う ●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。 ●外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気を取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●指定の電線を使用し、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。 ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。</p>	<p>注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p> <p>禁止 ●高温になる場所や直接炎があたり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。</p> <p>●端子カバーは電気工事後必ず据付ける ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。 ●据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●給排気パイプは室外に向かって下りこぶ形になるように据付け、断熱処理を確実に行う 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。 ●ドレン排出は、据付説明書に従って確実に行う 水漏れによる感電・火災や家財等の破損の原因。 ●専用システム部材（別売）の室外フードを据付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。 ●据付け後長期間で使用にならない場合は、必ず分電盤ブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</p> <p>指示に従う</p>
---	---

●本体はメンテナンスできるところに据付けてください。

1. 外形寸法図

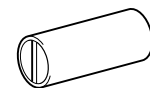


2. 同梱部品を確認してください

木ネジ.....4本



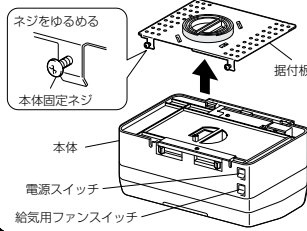
給排気パイプ...1個 長さ250mm



3. 据付けの前に

据付板をはずす

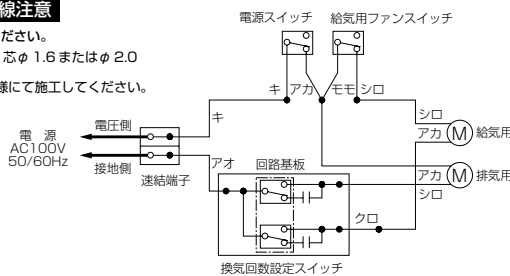
本体固定ネジ2本をゆるめて、本体から据付板をはずす。本体固定ネジは、据付時に必要です。



4. 結線図

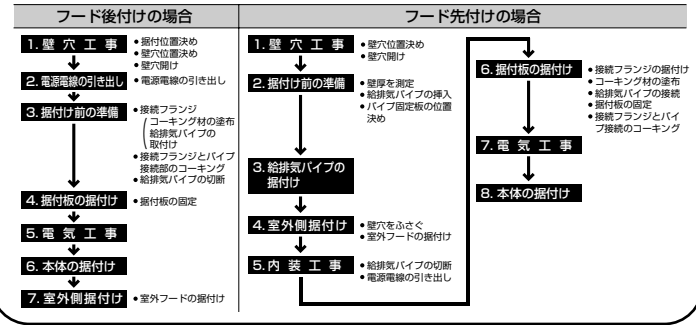
100V 専用・誤結線注意

- 太線部分の結線をしてください。
- 適用電線：VVF 単線 2 芯 φ 1.6 または φ 2.0
- ※太線部の結線はお客様にて施工してください。



5. 据付手順

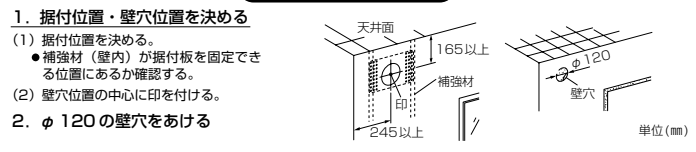
フード後付け / フード先付けによって据付方法が異なります。
(マンションで外装工事を先に仕上げる場合に、フードを先に付けておくことができます)
フード先付けの場合パイプ固定板 (P-50AP : 別売) が必要です。



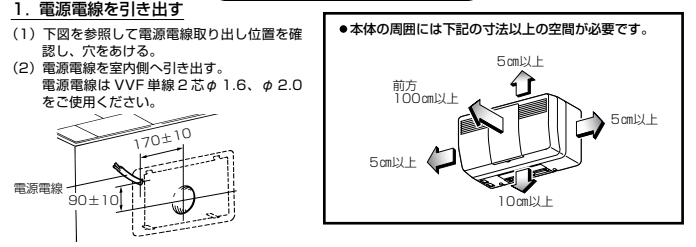
6. 据付方法

フード後付けの場合 本体を壁に据付けた後で、フードを据付ける据付方法です。

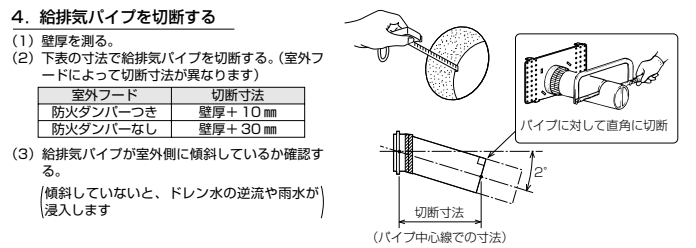
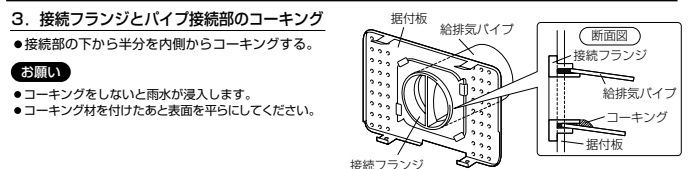
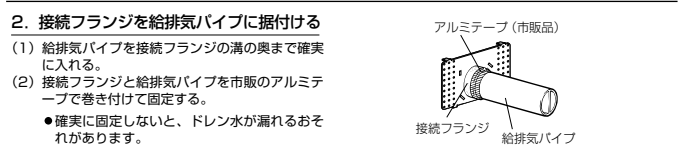
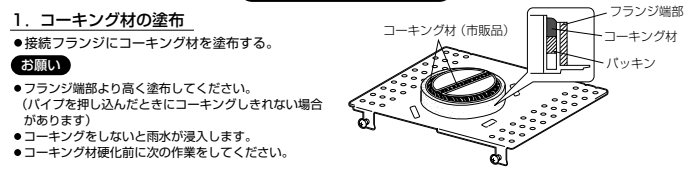
1. 壁穴工事



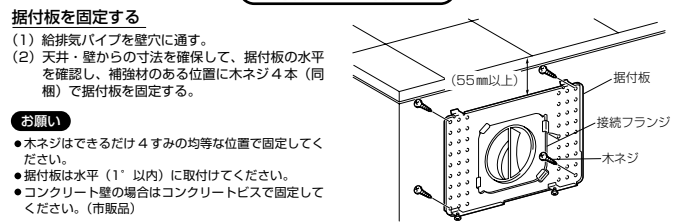
2. 電源電線の引き出し



3. 据付け前の準備



4. 据付板の据付け



5. 電気工事

警告

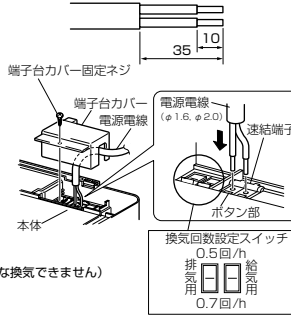
- 交流100Vを使用する（直流や交流100V以外を使用すると感電の原因）
- 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する（接続に不備があると火災の原因）
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う（接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因）

1. 端子台カバーをはずす

- (1) 端子台カバー固定ネジをゆるめて、端子台カバーをはずす。

2. 結線をする

- (1) 結線図のとおり結線をする。電源電線を右図の寸法にて皮むきし連結端子に差込む。
- (2) 端子台から電線が抜けないことを確認する。



3. 必要換気回数の設定をする

連結端子横の換気回数設定スイッチにて、換気回数を0.5回/h、0.7回/hに設定できます。工場出荷時は0.5回/hに設定してありますので、0.7回/hに設定する場合はスイッチを切替えてください。（端子台カバーに表示があります）

お願い

- 必ず2つのスイッチを同じ設定にしてください。（2つを異なる設定にすると、換気量のバランスがずれ、効果的な換気できません）

4. 端子台カバーを据付ける

- (1) 端子台カバーを据付ける。
- (2) 端子台カバー固定ネジで端子台カバーを固定する。●端子台カバー側壁にて電源電線をはさまない様、端子台カバーを据付けてください。

お願い

- 電源電線を連結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。
- ネジが破損する原因となりますので、端子台カバー固定ネジを締めすぎないでください。

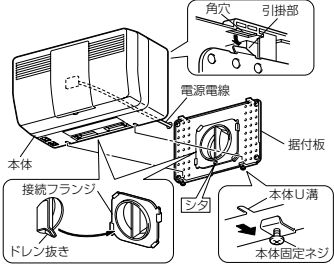
6. 本体の据付け

本体の固定

- (1) 据付け板引掛部（上側）に本体を引っ掛ける。●本体裏面のドレン抜きを接続フランジの中に入れてください。
- (2) 本体を壁側に押しつけて、本体固定ネジ2本（下側）で固定する。

お願い

- 接続フランジがツメ4か所ともかかっていることを確認してください。
- 接続フランジの刻印「シタ」が据付け板の下側にあることを確認してください。



7. 室外側据付け

システム部材の室外フードを据付けてください。

据付方法は室外フードに付属の据付説明書を参照してください。

- 室外フードは、コウモリ等の小動物の侵入のおそれがある所にはP-50CVP以外の専用フード（防虫網付など）をご使用ください。

フード先付けの場合

1. 壁穴工事

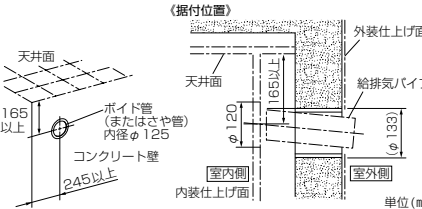
1. 据付位置・壁穴位置を決める

- (1) 右図を確認し壁穴位置を決める。

2. 壁穴をあける

- (1) 内径φ125のボイド管（またはさや管）を入れ、コンクリート壁を作る。
- (2) ボイド管（またはさや管）を引き抜く。

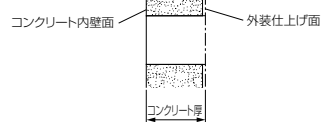
3. 外装壁面を仕上げる



2. 据付け前の準備

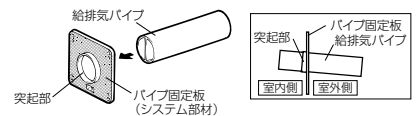
1. コンクリート厚を測定する

- 図を参照してコンクリート厚を測る。



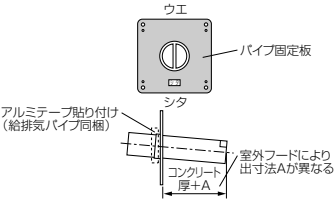
2. 給排気パイプの挿入

- パイプ固定板（P-50AP：別売）が必要で。
- パイプ固定板に給排気パイプを挿入する。
- パイプ固定板には方向性があります。突起部が室内側になります。



3. パイプ固定板の位置決めと給排気パイプの仕切方向

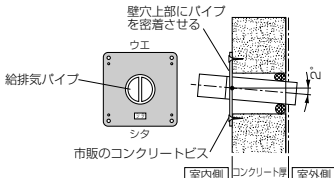
- (1) パイプ固定板の上下方向を確認する。
- (2) コンクリート厚+給排気パイプ室外寸法Aを決める。
- (3) アルミテープで固定する。



室外フード	パイプ室外寸法A
防火ダンパー付	10mm
防火ダンパーなし	30mm

3. 給排気パイプの据付け

- (1) パイプ固定板の上下方向を確認し、給排気パイプを壁穴に通す。（上下方向注意）
- (2) 室内側の給排気パイプを壁穴の上部に密着させる。
- (3) コンクリートビスの固定位置に印をする。
- (4) 給排気パイプを一旦取り出す。
- (5) コンクリートビスの予備穴を開ける。
- (6) 給排気パイプを挿入しネジ止める。（市販のコンクリートビス4本）



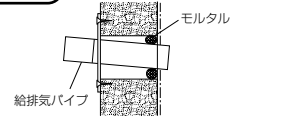
4. 室外側据付け

1. 壁穴をふさぐ

- 給排気パイプと壁穴のすきまをモルタルなどでふさぐ。

お願い

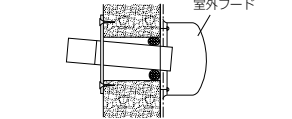
- 給排気パイプには傾斜が必要で、ふさぐ際に上下に無理な力を加えずに仕上げてください。



2. 室外フードの据付け

- 室外フードの据付説明書に従い室外フードを固定する。

この時点で室外側の据付けは完了です



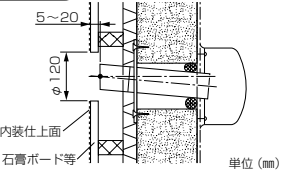
5. 内装工事

1. 給排気パイプの切断と内装仕上

- (1) 内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法が5~20mm以内の範囲になるよう給排気パイプを切断する。

お願い

- 内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法（5~20mm）を守ってください。
- (2) 内装仕上面の給排気パイプ位置にφ120の穴を開ける。



2. 電源電線の引き出し

裏面を見る

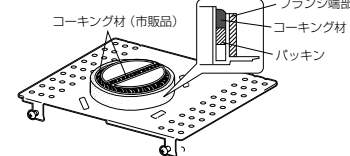
6. 据付け板の据付け

1. コーキング材の塗布

- 接続フランジにコーキング材を塗布する。

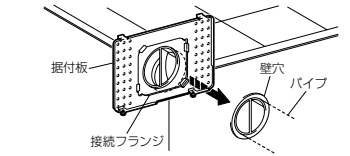
お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材硬化前に次の作業をしてください。



2. 接続フランジと給排気パイプの接続

- 接続フランジを壁内の給排気パイプに挿入する。

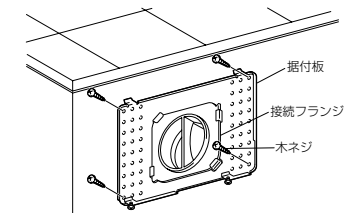


3. 据付け板の固定

- 据付け板の水平を確認し、補強材のある位置に木ネジ4本（同梱）で据付け板を固定する。

お願い

- 木ネジはできるだけ4すみの均等な位置で固定してください。
- 据付け板は水平（1°）に据付けてください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）

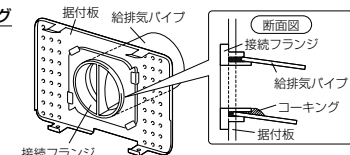


4. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

- 接続部の下から半分を内側からコーキングする。

お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。



以下の据付けは **フード先付けの場合** と同様に行ってください。

7. 電気工事

8. 本体の据付け

7. 据付後の確認

- 据付終了後、試運転の前にチェック表（下記）にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。（機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません）
- チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付け	本体の据付け強度は十分ですか？		
	本体が確実に据付けられていますか？	本体固定ネジを締め直す	
試運転	コーキングはしましたか？（接続フランジと給排気パイプの接続、室外フード）	コーキングをします（コーキングをしないと雨水が浸入します）	
	換気回数の設定は正しいですか？	正しく設定します	
	電圧は100Vですか？	100Vに直します（異電圧を印加すると破損します）	

8. 試運転

- できるだけお客様立会いで、試運転を行ってください。

1. 電源を入れる
 1. 分電盤ブレーカーを入れる。
 2. 電源、給気ファンスイッチを入れる。
2. 異常な振動、騒音がなければ確認し、確認後停止する
 1. 本体スイッチおよび分電盤ブレーカーを切る。

- #### お客様への説明
- 分電盤ブレーカーの位置をお客様へ説明してください。
 - チェック表の結果をお客様へお知らせください。
 - この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。
 - お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人へ説明してください。